

事業所名

3ピース小松

支援プログラム (参考様式)

作成日

7 年

2 月

28 日

法人 (事業所) 理念		我々は「預かり場所」ではなく「よくなる場所」の実現を目指し、主に発達障がいのある子どもたち対象にした放課後等デイサービスを全国に拡大し、より多くの障がい児たちに洗練された質の高い支援を提供し、彼らの「生活レベル」、「活動レベル」、「人生レベル」に貢献することを基本目的とする。					
支援方針		運動を通じて、社会性とコミュニケーションスキルを身につけます。 将来、自立していくために「誠実・謙虚・尊重」の気持ちを大切に、一人一人の成長を支援していきます。					
営業時間		10 時	15 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	衣服の着脱、身の回りの持ち物の整理、手洗い、排泄、食事、道具の使い方など、基本的な生活動作を一つ一つ確認し、それぞれの児童が取り組みやすい方法で「できた!」という喜びと自信を増やせるように支援していきます。また、児童の日常の過ごし方を把握し、睡眠や食事、体を動かす活動など、健康で豊かな生活を支える基盤となる生活リズムや習慣を整えられるように支援していきます。					
	運動・感覚	集団や個別、グループなど、児童が取り組みやすい人数単位や方法を工夫しながら感覚遊びや運動に取り組みます。感覚遊びでは、粘土、絵の具、自然物、音など様々な素材に触れる機会を持ち、「つくってみたい」「やってみよう」という気持ちを育みながら想像力や集中力を高められる場を提供します。運動では様々な種類の動きやゲーム要素のある活動を通して、感覚統合に繋がる支援を行います。					
	認知・行動	それぞれの児童の認知、行動のパターンを理解し、それによって生じる困りごとなどに対して具体的な方法を一緒に検討しながら、考え方や行動の幅を柔軟に広げていけるように支援します。 対人関係やセルフコントロール、ルールの理解など、遊びや対人関係を通して学びにつながるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	それぞれの児童の言葉の使い方や理解度、表現の特性などについて理解し、周囲に自分の気持ちや欲求を伝えられたり、他者とコミュニケーションをする楽しさを経験できるように支援します。語彙力や意味の理解を豊かにできるよう、絵本や言葉の連想ができる遊びを取り入れたり、指差しや絵カード等児童が表出しやすい方法を選択できるように工夫します。また、児童の興味のあるテーマから会話を広げ、お友達とのやり取りにつながるように橋渡しの支援を行います。					
	人間関係 社会性	様々な個性を持つお友達やスタッフと、それぞれの個性を認め合いながら学び育ち合う場を提供します。集団で行動するときの決まり事、外出先での社会のルールをはじめ、みんなで気持ちよく過ごすために必要なことを知り、自立するために必要な社会生活スキルを少しずつ身につけて行けるように支援します。お友達と「一緒に」活動することの楽しさを知り、その中で気持ちの行き違いも経験しながら、仲直りしたり、問題を解決したり譲り合ったりする経験をサポートします。					
家族支援		保護者と直接面談する機会を定期的に設け、事業所での活動にとどまらず、学校、家庭、その他の場所での児童の生活における様々な困りごとや悩み、進路等の相談を受けています。必要に応じ、情報提供や関連機関等の紹介を行うほか、保護者にとっての何気ない話し相手、気軽な相談先としての役割を担えるよう支援を行っています。			移行支援	保護者のニーズと、子どもの思いや実際の状況を大切にしながら、家庭、事業所、学校、その他の施設と連携を取り合い、スムーズにそれぞれの場所に移行して過ごせる支援を行っています。リハビリ先の病院からの情報や、学習指導案等も参考に、児童の実態に即した支援を行います。	
地域支援・地域連携		地域の児童館や文化的施設、他の事業所への見学・訪問を行っています。また、児童の休日等の過ごし方や活用できる環境資源、興味のあることに対する助言など、余暇や生活が豊かになる情報の提供を行っています。また、児童が関わる機関と連携を取り合い、横断的な支援を行える様に定期的に担当者が話し合う場を設けています。			職員の質の向上	児童指導員を2~3回/月開催しています。 外部研修・勉強会に参加するほか、療育の教材等の検討を行っています。	
主な行事等		季節の行事 (お正月、節分、七夕、ハロウィン、クリスマスなど)、クッキング、食育活動 (野菜を育てる、収穫するなど)、防災に関する活動 (避難訓練、防災センター訪問など)、誕生会、おでかけなど					